

「サンパウロ障害者施設用厨房及び食堂機材整備計画」 署名式

3月11日(火)午後3時30分より当館において、「社会福祉法人こどものその」に対する我が国の草の根・人間の安全保障無償資金協力の贈与契約署名式を谷口ジョゼー理事長と当館福嶋教輝総領事の間で行いました。

署名後、福嶋総領事は、社会福祉法人こどものそのの活動に対して敬意を表するとともに、「厨房及び食堂機材を整備することで、障害者の快適な生活の手助けとなることは我々にとっても大きな喜びであり、この協力を通じて日本とブラジル日系社会の繋がりがより一層深まる機会になれば嬉しく思います。」と祝辞を述べました。

谷口理事長は、「私達は、草の根・人間の安全保障無償資金協力で支援いただき喜びと感謝の気持ちでいっぱいである。日本政府からの資金協力により購入する厨房及び食堂機材のおかげで80名の身体障害者の日常生活の改善を実施することが出来る。このような協力は我々の励みになり、身体障害者らを支援するやりがいを感じる。あらためて、日本政府並びに日本国民に対し感謝の気持ちと敬意を表したい。」と謝辞を述べました。



福嶋総領事（右）と谷口理事長（左）



社会福祉法人こどものその関係者と福嶋総領事

案件のプロフィール

案件名:「サンパウロ障害者施設用厨房及び食堂機材整備計画」

被供与団体:社会福祉法人こどものその

プロジェクト実施地:サンパウロ州サンパウロ市

契約署名日:2014年3月11日

供与額:48,061米ドル(限度額)

案件概要:社会福祉法人こどものそのは1958年に設立され、現在は80名の知的・身体障害者の保護、教育及び医療的サポートを行っています。当初日系人の知的障害児童の保護を目的に運営を開始しましたが、その後右児童の成長に合わせて大人の利用者も増え、また非日系ブラジル人の入所も開始し、現在に至っています。現在、障害者が使用している厨房及び食堂機材は過去に寄付された木製のものが主であり、破損も顕著であることからステンレス製のものに交換する必要がありました。この度の協力は、同団体の厨房及び食堂機材を整備するもので、障害者の快適で安全な療養を可能にするものです。また、厨房機材を整備することによってブラジル厚生省 ANVISA の基準に従うことになるほか、食中毒などの危険性も減少します。

供与品目:厨房及び食堂機材